

令和 5 年度海岸漂着ごみ組成調査業務報告書

稲童地区海岸（行橋市）

令和 6 年 3 月

福岡県保健環境研究所

1 調査の目的

福岡県の海岸漂着ごみの実態把握及び発生抑制対策に資する情報収集を行うため、海岸漂着ごみ組成調査を実施した。

2 調査方法

2.1 地点

調査地点である稲童地区海岸の位置を図 1-1 及び図 1-2 に、調査範囲を図 1-3 に、詳細を表 1 にそれぞれ示す。調査地点は豊前海に面する砂と礫が混在する海岸である。本海岸における直近 2 年間（2022 年 1 月～2023 年 12 月）の清掃活動について、実施されたという情報は確認できなかった。

稲童地区海岸に近い気象台である行橋観測所（図 1-1）における直近 5 年間（2019-2023 年）の平均風速及び最多風向を表 2 に示す。平均風速は各月 1.7~2.2 m/s である。風向は一年を通して西南西の風が卓越しているが、夏の時期は東の風も強くなることがわかる。より詳細な情報として、5 年分の 1 時間毎の風速及び風向データから作成した風配図を添付 1 に示す。

日本周辺の主要な海流を図 2 に示す。豊前海は福岡県、大分県及び山口県に囲まれた半閉鎖的の海域であり、海流による影響が小さい海域である。



図 1-1 稲童地区海岸 (○) と観測所 (●) の位置

出典：国土地理院 白地図

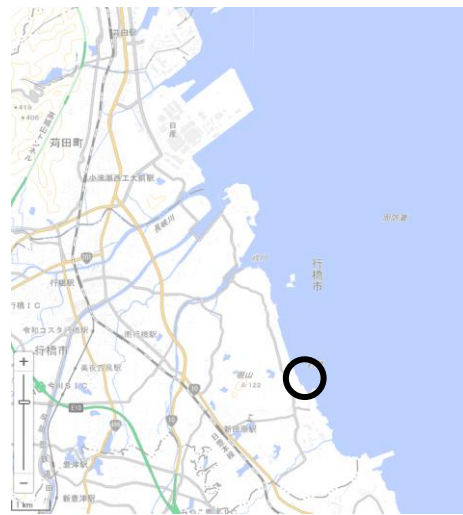


図 1-2 稲童地区海岸の位置

出典：国土地理院 淡色地図



図 1-3 調査範囲

表 1 稲童地区海岸の詳細

所在地	行橋市稲童
中心地点の緯度経度	33°42'23.3"N 131°01'47.5"E
1km 以内の一級及び二級河川河口	なし。
調査範囲奥行き（平均）	5m
直近 2 年間の清掃活動	確認できず。

表 2 行橋観測所における気象データ (2019-2023 年)

月	行橋	
	平均風速 m/s	最多風向 -
1	2.0	西南西
2	2.2	西南西
3	2.0	西南西
4	2.1	西南西
5	2.1	西南西
6	2.0	東
7	1.9	東・西南西
8	2.0	西南西
9	2.1	東
10	1.8	西南西
11	1.7	西南西
12	2.0	西南西

気象庁データから作成 <https://www.data.jma.go.jp/risk/obsdl/>



図 2 日本周辺の海流

出典：海上保安庁海洋情報部

<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN8/sv/teach/kaisyo/stream4.html>

2.2 期間

回収作業は 2023 年 12 月 15 日、集計作業は 2024 年 1 月 9 日、10 日に実施した。

2.3 回収及び集計作業

作業は地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン(令和5年6月第3版)(以下「ガイドライン」という。)に従い実施した。回収した漂着ごみは約3週間風通しのよい屋外で乾燥させて集計した。竹については、曲がりがなくまっすぐであり、枝が落とされているものは人工物と判断し木(木材等)に分類し、穴が空けられ紐が通してあるものは漁具に分類した。

3 調査結果

集計結果を表3及び図3に示す。また、詳細なデータシートを添付2に、言語表記等調査シートを添付3に、回収前後の写真等を添付4に、回収したものの写真を添付5にそれぞれ示す。なお、シートや袋の破片、硬質プラスチック破片、発泡スチロールの破片、ガラス・陶器の破片、灌木は個数を計数していないため個数には計上していない。回収物全体の容量は4260 L、重量は1060 kgであり、自然物及び木(木材)が大部分を占めていた。

回収物を漁具、漁具以外の人工物及び自然物に分けた集計結果を表4及び図4に示す。漁具は容量及び重量どちらにおいても寄与の割合は小さかった。

プラスチックのみに着目した集計結果を図5に示す。前述のとおり漁具は全体で見ると寄与は小さいものの、プラスチックの回収物だけで見ると容量及び重量どちらにおいても1/4以上であった。

ペットボトル等の製造国別集計結果を表5に示す。ペットボトルは1つ回収され、それは日本製のものであった。

ペットボトルの製造国別消費期限・賞味期限の集計結果を表6に示す。回収された日本製のペットボトルは消費期限・賞味期限が2021年であった。

表3 集計結果(稲童地区海岸)

大分類	個数 (個)	容量 (L)	重量 (kg)
1 プラスチック	273	15.3	2.75
2 発泡スチロール	243	11.7	0.2
3 ゴム	0	0	0
4 ガラス, 陶器	2	0.1	0.278
5 金属	9	4.4	0.20
6 紙, ダンボール	1	0.3	0.01
7 天然繊維, 革	0	0	0
8 木(木材等)	34	634	194
9 電化製品, 電子機器	0	0	0
10 自然物	80	3590	860
11 その他	1	0.005	0.0015
合計	643	4260	1060

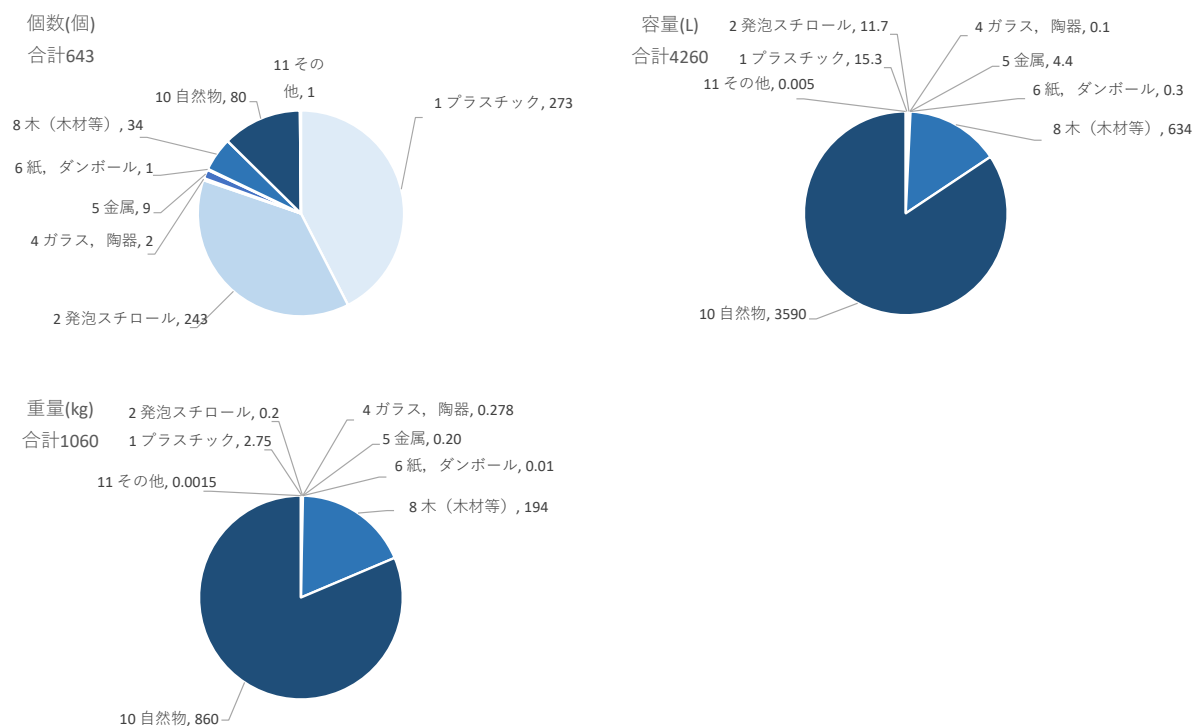


図 3 集計結果(稲童地区海岸)

表 4 漁具に着目した集計結果(稲童地区海岸)

大分類	個数(個)	容量(L)	重量(kg)
人工物(漁具)	204	36.0	10.3
人工物(漁具除く)	359	630	187
自然物	80	3590	860
合計	643	4260	1060

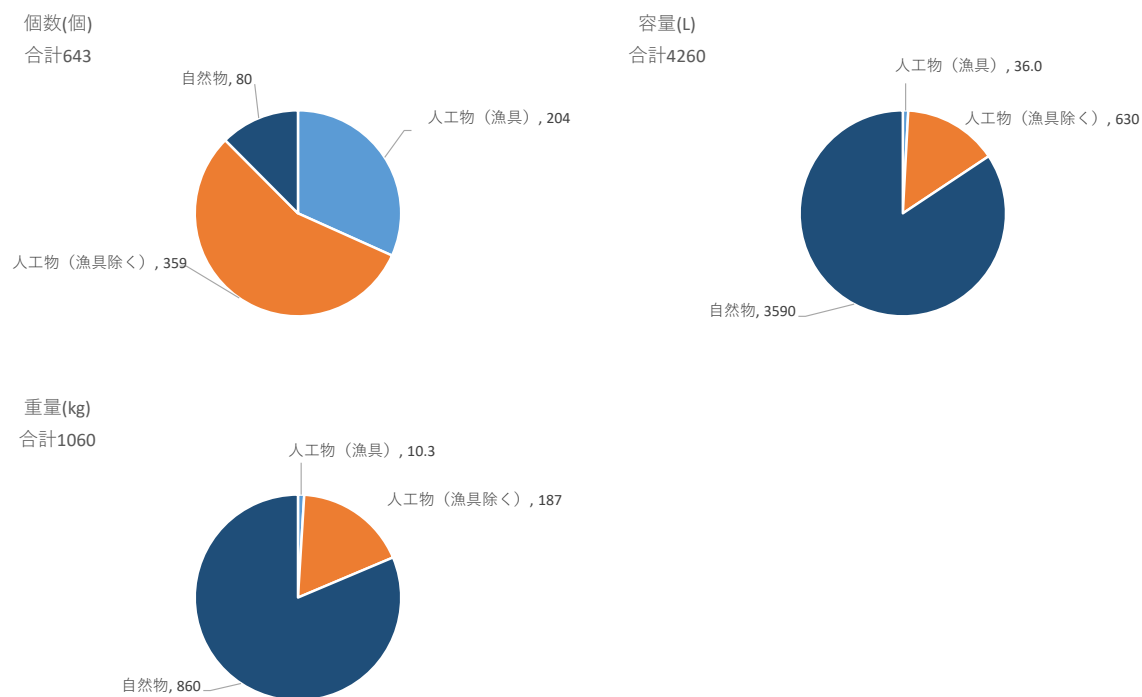


図4 漁具に着目した集計結果（稲童地区海岸）

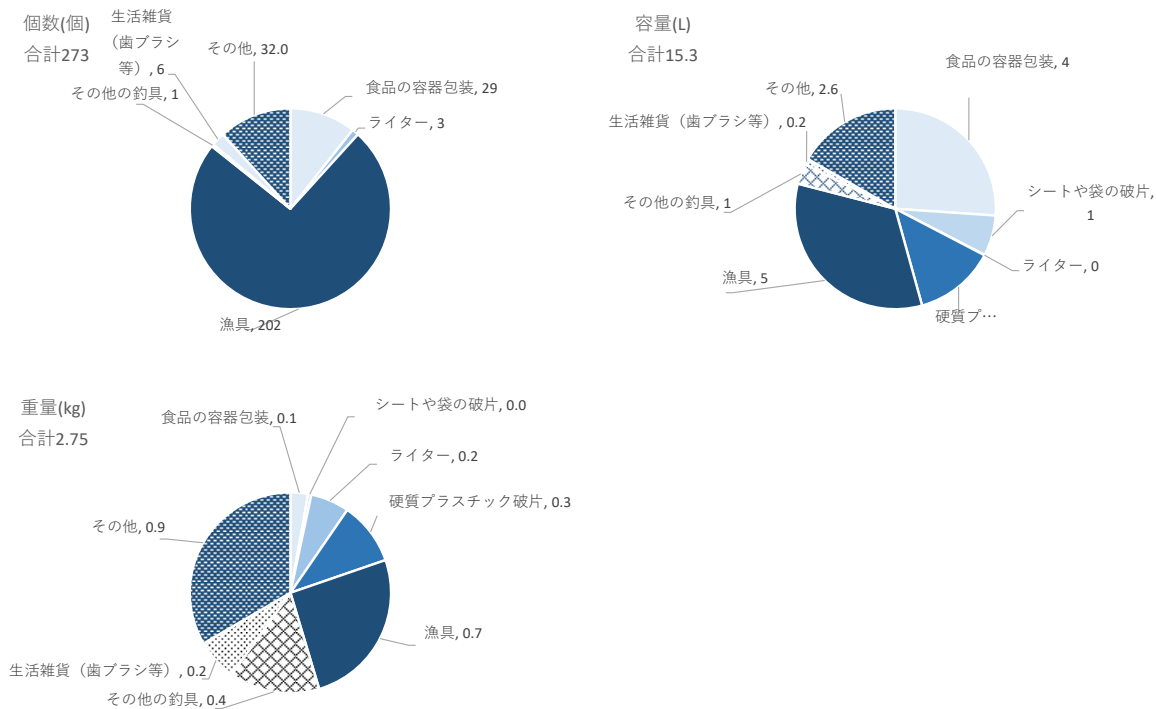


図5 プラスチックに着目した集計結果（稲童地区海岸）

表5 ペットボトル等の製造国別集計結果（稲童地区海岸）

大分類	ペットボトル（個）	ペットボトルの キャップ（個）	漁業用の浮子（個）
日本	1	1	0
中国・台湾	0	0	0
韓国	0	0	0
その他	0	0	0
不明	0	1	0
合計	1	2	0

表6 ペットボトルの製造国別消費期限・賞味期限集計結果（稲童地区海岸）

	日本	中国・台湾	韓国	その他	不明
2020 年以前	0	0	0	0	0
2021 年	1	0	0	0	0
2022 年	0	0	0	0	0
2023 年	0	0	0	0	0
2024 年	0	0	0	0	0
2025 年	0	0	0	0	0
不明	1	0	0	0	0

4 まとめ

福岡県の海岸漂着ごみの実態把握及び発生抑制対策に資する情報収集を行うため、海岸漂着ごみ組成調査を稲童地区海岸（行橋市）で実施した。その結果、4260 L, 1060 kg の海岸漂着ごみを確認した。容量及び重量どちらにおいても自然物が最も大きな割合を占めていた。

添付1 風配図（行橋観測所）

添付2 漂着ごみデータシート

添付3 言語表記等調査のデータシート

添付4 回収前後の海岸の写真

添付5 回収物の写真

添付6 海岸漂着物組成調査地点選定のための現地確認結果（豊前海，有明海）